

同窓会だより

第20号発行 愛知享栄学園
栄徳高等学校同窓会事務局
〒480-1103
愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-32
TEL 0561-62-5000
FAX 0561-62-5549
E-mail dousoukai@eitoku-h.ed.jp
印刷・編集 株式会社クリックス
052-325-2512 (代)
<https://clicks-d.jp/>

ご挨拶



同窓会 会長
市村 洋幸

栄徳高等学校同窓生の皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろから同窓会の運営にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。学校が創設され、40年が過ぎました。周辺に目を向けても、この40年で大きな様変わりが見られます。学校が所在する長久手は町から市になり、住み心地の良い街として上位にランキングされるようになりました。全国展開のショッピングモールや大型家具店が建ち並び、田畑だったところに住宅が増えました。

学校に目を向けても4コース7類型クラスの体制となり、生徒が学ぶ選択の幅が広がっています。

同窓生の皆さまにおかれましても、様々な分野でご活躍のことと思います。最近、特にスポーツの分野において、出身校が紹介さ

れることが増えてきました。その中で、「栄徳」の文字を見つけると、思わず微笑み、活躍を期待して「頑張れ!」と声援を送り、私も勇気づけられます。

また、生徒の各方面の活躍も見過ぎてません。文武両道を達成した在学学生を表彰し、記念品を贈呈する同窓会顕彰事業や、各種大会に出場する生徒に対し行う奨学基金事業は引き続き取り組んでまいりますので、さらなる活躍を期待しています。

今後とも、母校の発展を願うとともに、引き続き、同窓会の運営にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



TOPICS

- ご挨拶 同窓会 会長 1
- ご挨拶 学校長 2
- ご挨拶 退職職員 3
- ご挨拶 卒業生 4
- 決算報告・予算案・教職員異動 5
- 部活動報告 6

総会のお知らせ

2025年の総会については、本校の視聴覚教室で行います。当日の詳細については新年度以降HPにアップしていく予定ですのでそちらをご覧ください。

ご挨拶



学校長
三好 博輝

昭和が始まりちょうど100年の節目となる令和7年は、昨年とは違い穏やかな幕開けとなり、日本経済の復調を予感させる年となりました。栄徳高等学校同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは本校の教育活動の充実発展のために、格別のご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

栄徳高校は、今年度で41年目を迎えました。昭和58年の創立以来、地域社会の期待を受け、良き伝統と歴史は絶えることなく受け継がれ、常に新しいものを創造しながら着実に成長を続けてまいりました。これもひとえに同窓会の皆様の長年にわたる多大なるご支援とご援助によるものであると深く感謝申し上げます。

今年度は、コロナで中止をしていた国際交流が徐々に元の形に戻り、8月に本校生徒が
ヨンフン
泳薫高校（韓国）を訪れ、12月にホライズン
クリスチャン高校（アメリカ）を訪れました。また、1月には、ダニーパーク高校（ニュー
ジージーランド）と泳薫高校からの生徒を迎え、

2月にはホライズンクリスチャン高校の生徒を迎えました。部活動と並び国際交流も本校の大きな魅力の一つになっています。

また、文武両道の進学校としてさらなる発展を遂げるため、そして、中学生人口が激減しても存続が可能な学校にするために、昨年度に引き続きグランドデザイン実行委員会を開き、栄徳高校の将来について考えてまいりました。同窓会におかれましても、母校のためにご意見がございましたら、積極的に学校へお知らせいただければと思います。

さて、今年も399名の生徒を同窓会会員として迎え入れて頂くことになりました。建学の精神である「誠実で信頼される人に」なるために、「栄徳五訓」を胸に刻んできた生徒たちばかりですので、皆様方からの温かいご指導を頂ければ幸いです。

今後とも母校、栄徳高等学校にこれまで同様のご支援ご協力を頂きますようお願いし、同窓会の皆様のますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、挨拶といたします。



ご挨拶 (退職職員)



副校長
森下 忠章

このたび、学園に奉職して41年、
とうとうこの日がやってきました。
未だに実感がわきません。本当は誰

にも告げず、知らないうちにさっといなくなろうと思っていたのですが、同窓会の役員の皆様が思い出してくれて(笑)、この文をしたためています。

訳も分からずとにかく突っ走っていた新任当時、休みの日には生徒と当時の青少年公園でみんなでソフトボールをしたり。全くのド素人のバスケットボール顧問で、私学祭で当時の強豪と対戦し、“100対0”というスコアの、最後の最後で得点を入れて、ゼロ敗は免れ、シュートを決めてくれた時の感動と、不思議に悔しさよりも嬉しさが込み上げて思わず「やったー！」と叫んでいたのを思い出します。あの時は会場内拍手だったな・・・

初めての学年主任の卒業式、本当に泣けました。退場の時、僕に手を振ってくれた生徒、司会をしているのに、最中に泣いてしまいました。

他にも本当にさまざまなことがあり、先日もぼーっと青空の中に建つ校舎を眺めながら、「あんな生徒もいたな」「こんなことがあったな」と感傷に浸っていました。

机の整理をしていると、とても古い写真が出てきて。「懐かしい！」と思いながら、そのたびに片付けの手が止まり、それでも整理を少しずつ始めていますが、なかなか進みません。(誰だ? 「あの汚い机」って言うてる人は(笑))

いろいろ本当にたくさんのご縁がありました。一つ一つを思い出せばきりがありませんが、全てのご縁に感謝しています。そのご縁が私の人生の宝物です。そしてそのご縁が私を成長させてくれました。

・・・と書いてみたものの、ここから筆が止まってしまいました。パソコンに向かってはいるものの、たくさんの方が走馬灯のように駆け巡り、書ききれません。

「ありがとうございました。お世話になりました。」

こう書いてしまえば、楽しかったことも、悲しかったことも、つらかったことも、すべていい思い出になっています。

また、機会があればいつか、どこかでお酒でも飲みながら、昔話を語り合えよう。

では、みなさん、お元気で。

「さよーなら、またいつか」



教職員
鎌田 勉

栄徳高校の正門をくぐり40年近くの歳月が流れた。今こうして振り返ってみると、数々の思い出が走馬

灯のようによみがえってくる。大学を卒業し、3年ほど他の職業についてからの教員生活の始まり。何かにつけて新鮮だったことは、今も鮮明に覚えている。

初めて担任としてクラスを持ったあの時。緊張と興奮が入り混じり、今まで経験したことのない最初の日。どんな生徒と出会うのだろうか、自分のことを慕ってくれるのだろうか、いろいろ考えながら一歩足を踏み入れた教室。最初に飛び込んできた彼らのまなざし。いい目をしていて。溶け合うのに時間はいらなかった。2年生、3年生と2年間受け持った最初の教え子。今でも声をかけるとすぐに集まってくれる大切な宝物だ。卒業していった後の誰もいなくなった教室で一人涙を流した。かけがえのない、素晴らしい時間をありがとう。

20代、30代は、情熱にまかせがむしゃらに突っ走った。熱い指導も何度かした。でもそこには、心と心のつながり、信頼関係を絶対なものとし接してきたことだけは自信を持って言える。

この時代、部活指導も忘れられぬ思い出。水泳部で個人・リレーで県大会に出場したことや、合宿でだれも脱落せず1日9000メートルを泳ぎきった。まさに感動だった。今思えば、よく泳いだものだ。でも、それが県大会出場につながったので努力が報われてよかったと思う。

30代からは、男子テニス部。自分自身が初心者で、今までやったこともないだけに、部員以上に練習したと思う。本やビデオを参考に独学。壁打ちから始め、歳に似合わず本当に努力したといえる。ある程度自信をもって1番手・2番手と打ち合うのに3年近くかかった。おかげで肘や手首、肩をよく痛めた。30代後半から今に至るまで、いつもストロークの相手をしている自分があるのが何だか不思議だ。ただ、部員はよく走らされたと思う。でも思っているだろうなあ。顧問直々に連れていくので、逃れられない苦しさがあったと思う。でもやはり一番の思い出は、初めて県大会に出場できると思って鍛えてきたチームが、目の前で予想外の学校に敗れ、予選敗退となった時、ベンチで涙が止まらなかったことかな。その後初めて県大会出場した時も涙は出なかったのに。これも彼らから貰ったかけがえのない宝物。

40代、50代も若さだけは前面に出してやってきた。ただこれまでとは違い、落ち着いて回り全体を見渡しなが指導できるようになったのは、経験のなせる業かな。特に50代になると、それはさらに増した。あらためて経験の大切さを考えさせられた。

そして60代、忘れられぬ思いを胸に、今、静かに終りをつげる。栄徳高校、長い間ありがとう。

卒業生より

教職員

塚本 健



卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。

私は栄徳高校27回卒業生であり、現在2年4組スポーツクラスの担任をしている塚本健です。

今年度は、スキューバダイビングのライセンス取得を目的とした修学旅行やスポーツクラスの生徒が運営に参加する体育祭など、新たなことにチャレンジした1年でした。

栄徳高校は当時から規則のしっかりした学校でした。最初は戸惑いもあり、なんでだろうと思うこともありました。私が、高校2年生の時、第90回全国高等学校ラグビーフットボール大会愛知県大会決勝戦が私の人生の転機となりました。互いに全国大会初出場を賭けた試合でした。そこで私が見た景色は、観客席にいる栄徳高校の先生、友人、他部活で頑張る仲間たちなどが会場を埋め尽くしてくれている景色でした。結果は負けてしまい、ラグビーの聖地「花園」への切符を手にはできませんでしたが、仲間たちの必死な応援に、背筋が震え、涙が出そうなくらい感動しました。「栄徳で良かった」という強烈な感動は今でも鮮明に覚えています。将来は栄徳高校で教師となり、この感動を伝えたい、この先の景色を共有したいと思いました。私が過ごした高校時代とは全く異なる今の栄徳高校。SNSやインターネットが普及し、目まぐるしく変化する現代社会において、柔軟性や思考力はとても大切なことだと思います。ただ、私はどんな時代においても変わってほしくないことがあります。それは感動することです。私は好運にも、愛知県大会決勝という舞台でこの感動を得られましたが、魅力や感動は一人一人に必ずあります。ただ、それに気づくにはもっと人に触れ、喜怒哀楽を経験しなければいけません。最近はSNSの普及により自分が感じたことよりも周りの反応や評価に偏ってしまっていると思います。スマホの画面では得られない感動が栄徳には溢れています。本当の“いいね”を知った人こそ、充実感のある最高の人生を過ごせるのだと思います。

最後に皆さん、卒業すれば今の生活に比べ、自由で快適な生活を送ることができると思います。しかし、自由になった瞬間に社会性を問われることになります。そこに自分の価値観や常識は通じません。間違いを犯したときに「自分以外もやっている」などの言い訳は聞いてもらえず、築き上げてきた信頼関係さえも崩れてしまいます。素直な心は大切です。

今やAIを駆使すればたとえ自分が悪くても、その場しのぎの策をしてくれるのでしょうか。でも、他人に矛先を向けるばかりで自省をしない限り、心は荒んでいくだけです。人の心を動かすのはAIではなく、人です。道を切り拓くのは保護者ではなく、自分自身です。立場にかぎらず、素直な心で“ありがとう”と“ごめんなさい”が言えるかっこいい大人になりましょう。

時代は違えど、共に歩んだ栄徳の同窓生であることに感謝します。ありがとう。

プロゴルファー

上堂 蘭 伽純



JLPGA(日本女子プロゴルフ協会)97期生の上堂蘭伽純です。私がプロゴルファーを目指して、本格的に競技に出場し始めたのは14歳の頃で、周りとは比べると遅いスタートでした。ご縁があり、栄徳高校へ入学しました。何の実績もない私に比

べ、先輩や同級生は実績のある選手ばかりでした。高校時代も目立った成績は残せませんでしたが、技術はもちろんそれよりも大切な礼儀、マナーを先生方や先輩方から教わりました。高校時代に教わってきた事で今の私があるのだとつくづく思われ、本当に感謝しています。高校を卒業してからは、三重県のゴルフ場で研修生として働きながらプロゴルファーを目指しました。実家にいると甘えが出てしまうのではないかと考えたことと少しでも両親の負担を減らせないかと考え、働き得たお金でやれるだけの事はやろうと寮生活を始めました。三重県で8年、岐阜県で2年、研修生として働きながらプロゴルファーを目指しました。自分の生活の為、試合に出場する為、プロテストを受験する為。いくら自分の為だとは言え、働いている時間にも本当だったらもっと練習ができるのにと、もどかしく思う事は多々ありました。決して恵まれた環境ではないけれど、どんな環境であれ絶対にプロになってやるという気持ちは誰よりも強くなりました。高校時代にはノミの心臓だと言われていたメンタルも、少しは強くなったのではないかとと思っています。プロテストに合格できたのは今まで私に関わってくださった全ての方々の支えがあったからです。常に感謝の気持ちを忘れず、何事も素直に受け取り謙虚な姿勢でプロゴルファー生活を送りたいと思います。今シーズンはステップアップツアーが主戦場となり全21試合に出場します。目標は、まず一勝をし、ファイナルQTで30位までに入り、来季のレギュラーツアー前半戦の権利を得ることです。そして、プロゴルファーとしての一番の大きな目標はメルセデスランキングで1位を獲ることです。いくつになってもレギュラーツアーのシードを獲得し続けられるような、強く息の長い選手になりたいです。多くの方々に私のプレーや結果を通して、勇気や元気を届けられるよう、私自身が楽しんでプレーしていきたいと思います。今後とも応援宜しくお願いいたします。

同窓会・同窓会基金 決算予算報告

令和5年度 栄徳高等学校同窓会費決算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位 円)

支出の部		収入の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 合 費	270,674	同窓会費	3,546,000
行 事 費	42,000	同窓会入会費	394,000
記 念 品 代	618,000	受取利息	128
印 刷 製 本 費	1,153,509	同窓会協力金	0
総 会 費	1,860,326		
雑 費	0		
手 数 料	66,000		
同窓会基金繰出金	1,000,000		
40周年記念品代	705,280		
次年度繰越支払資金	12,467,872	前年度繰越支払資金	14,243,533
支出の部 合計	18,183,661	収入の部 合計	18,183,661

令和5年度 栄徳高等学校同窓会基金決算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位 円)

項 目	金 額	備 考
収入の部		
同窓会会計より繰入金	1,000,000	受取利息
雑 収 入	44	
前 年 度 繰 越 金	2,907,286	
収入の部 合計	3,907,330	
支出の部		
奨 学 基 金 支 出	816,000	
Student of the year 記念品	30,000	
次 年 度 繰 越 金	3,061,330	
支出の部 合計	3,907,330	

令和6年度栄徳高等学校同窓会予算(案)

(単位 円)

項 目	金 額	備 考
収入の部		
同窓会入会金	401,000	401人×1,000円
同窓会終身会費	3,609,000	401人×9,000円
小 計	4,010,000	
前年度繰越金	12,467,872	
収入の部 合計	16,477,872	

(単位 円)

項 目	金 額	備 考
支出の部		
総 会 費	50,000	総会諸費用
会 合 費	300,000	役員会打ち合わせ費用
行 事 費	45,000	卒業式・入学式花代
記 念 品 代	600,000	
通 信 費	10,000	役員会案内
印 刷 製 本	50,000	総会案内・資料含む
手 数 料	150,000	年間保守管理費等
同窓会基金繰出金	1,000,000	同窓会基金へ
小 計	2,205,000	
次年度繰越金	14,272,872	
支出の部 合計	16,477,872	

教 職 員 異 動

令和7年度の教職員の異動について下記のように報告いたします。

〔令和6年度 退職された職員〕

森 勝則 (保健体育)
中野 幸治 (地歴公民)
森浦 朗 (保健体育)
白石 光希 (数学)

〔令和6年度 異動〕

宇佐美 博 (入試広報) 栄徳高校→享栄高校
宮崎 夏澄 (理科) 享栄高校→栄徳高校

〔令和6年度 新任の職員〕

小川 裕 (入試広報)
小山 高輝 (英語)
日比 隆晶 (保健体育)
山下 竜輝 (地歴公民)

令和6年度部活動の活躍

【ラグビー部】

第78回愛知県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技 第3位
第104回全国ラグビーフットボール大会愛知県大会 第3位
SAGA2024国民スポーツ大会 出場
(川上 朗・藤木 陽斗・山下聖 亜・多川 慶次郎)

【男子バレー部】

第78回 愛知県総合体育大会バレーボール競技 ベスト8
ビーチバレージャパンジュニア愛知県予選 第3位(西尾 雷生・倉澤 千裕)
東海ビーチバレーボール選手権大会 ベスト8(西尾 雷生・倉澤 千裕)
愛知県選手権大会 第3位
全日本選手権大会愛知県予選 ベスト8

【ソフトボール部】

第78回愛知県高等学校総合体育大会ソフトボール競技 ベスト16
令和6年度愛知県高等学校女子ソフトボール選手権大会 ベスト16
令和6年度愛知県高等学校新人体育大会ソフトボール競技 ベスト8

【陸上競技部】

第78回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会 兼 特別国民体育大会選手選考会
女子100mH 第4位 岡本 彩里(東海大会出場)
令和6年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技大会
女子100mH 第3位 岡本 彩里(東海大会出場)
第27回東海高等学校新人陸上競技選手権大会 女子100mH 第2位

【ダンス部】

全日本高校ストリートダンスクライマックス2024中部予選大会 入賞(全国大会出場)
第14回全日本高等学校チームダンス選手権大会中部予選 第3位(全国大会出場)

【日本拳法部】

第38回日本拳法愛知県民大会
女子個人の部 準優勝 尾崎 千澄 第3位 後藤 蒼
第34回日本拳法高校東海大会
女子個人の部 準優勝 後藤 蒼
第38回中部総合大会
男子個人 ベスト8 一色 湊澄・加藤 海暢
女子個人 優勝 後藤 蒼 第3位 尾崎 千澄
第69回全国高等学校日本拳法選手権大会
男子団体 ベスト8 女子団体 ベスト8

【卓球部】

愛知県秋季卓球新人大会
男子シングルス 優勝 中村 清心郎(東海大会出場)
第64回東海卓球選手権大会 出場
中村 清心郎・児嶋 悠生・武田 俊輔
令和6年度愛知県高等学校新人体育大会兼全国高校選抜卓球大会愛知県予選会
男子学校対抗戦 ベスト8

【ゴルフ部】

第13回愛知県高等学校ゴルフ対抗戦
第2位(井村 栄斗・吉田 翔哉・グレイ 泰良・濱口 潤)
第47回中部高等学校ゴルフ対抗戦 男子団体
優勝(林 謙吾・井村 栄斗・吉田 翔哉・グレイ 泰良・濱口 潤)
個人成績 第1位 井村 栄斗
2024年度全国高等学校ゴルフ選手権大会 文部科学大臣旗争奪 第45回男子団体の部 出場
(林 謙吾・川本 大維志・井村 栄斗・グレイ 泰良・濱口 潤)
2024年度 全国高等学校ゴルフ選手権大会文部科学大臣杯争奪 第68回男子個人の部 出場
(井村 栄斗・グレイ 泰良)
第29回 日本ジュニアゴルフ選手権競技 男子15~17歳の部 出場
(井村 栄斗・グレイ 泰良)
令和6年度第26回愛知県高等学校ゴルフ新人戦
第2位 井村 栄斗 第10位 濱口 潤
令和6年度第4回愛知県高等学校ゴルフ連盟 オータムカップ2024・個人戦 supported by AJG
第7位 井村 栄斗
令和6年度第3回愛知県高等学校連盟 オータムカップ2024 団体戦 supported by AJG
優勝(井村 栄斗・吉田 翔哉・グレイ 泰良・大村 朋輝)
個人成績 第1位 井村 栄斗
令和6年度第12回愛知県高等学校ゴルフ冬季大会 トップアスリートの部
第3位 濱口 潤
第8回 ヨネックスジュニアカップ東海・北陸地区予選高等学校ゴルフ対抗戦
男子団体の部 優勝(井村 栄斗・吉田 翔哉・グレイ 泰良・濱口 潤)

【放送部】

第71回NHK杯全国高校放送コンテスト愛知県大会
創作ラジオドラマ部門 最優秀賞(全国大会出場)

【囲碁将棋部】

第60回全国高等学校将棋選手権大会 愛知県大会
団体戦 ベスト16(有馬 尚輝・高原 歩夢・鮫島 大宙)
個人戦 ベスト16(有馬 尚輝・高原 歩夢)
第33回全国高等学校文化連盟将棋新人大会 愛知県大会
ベスト8 高原 歩夢
ベスト16 有馬 尚輝・石原 宥太郎

【漫画研究部】

令和6年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
愛知県入選 本井 葵椰・服部 来海(全国選考出場)

編集後記

愛・地球博から20年、まもなく大阪夢洲で万博が開催されます。「MOTTAINAI」から「SDGs」へ…、機会があれば会場に足を運び、さらに20年後の未来を想像してみたいかがでしょうか？